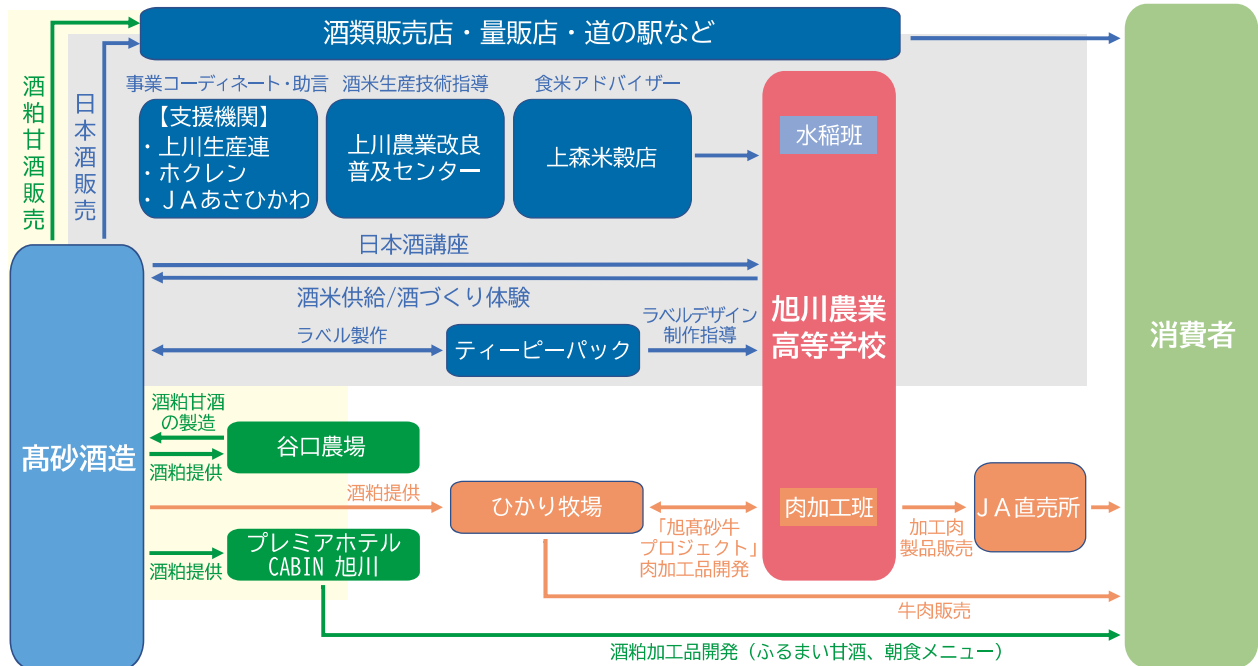


# 旭農高日本酒プロジェクト

旭川農業高等学校と地場産業の企業が協力し、「北海の灘」と呼ばれていた旭川市で、日本酒文化を未来に繋げるとともに、地域特産品として盛り上げていく産学連携プロジェクト。同校 水稻専攻班の生徒達は、酒米生産を行なうほか、製品化されるまでの全工程に携わりながら1年かけて作り上げていくプロジェクト酒です。



※旭川農業高等学校 農業科学科 水稻専攻班では、うるち米・もち米の生産を中心に、行っていましたが、このプロジェクト始動時より酒米生産もスタートさせました。



## プロジェクトメンバー

- 旭川農業高等学校  
(農業科学科・食品科学科)
  - (株)ひかり牧場
  - 上川生産農業協同組合連合会
  - ホクレン農業協同組合連合会  
旭川支所 米穀課
  - 上川総合振興局
  - 上川農業改良普及センター  
(株)ティーピーパック
  - プレミアホテル CABIN 旭川
  - (同)上森米穀店
  - 高砂酒造(株)
- (順不同)





## 年間活動内容

同校の水稲専攻班 2・3 年生を対象に、毎年 3 月の「キックオフミーティング」から始まり、1 年間様々な活動を経て、翌年 2 月「完成酒の発売発表会」を行っています。



### 3月 キックオフミーティングと商品名検討

生徒達の手作り名刺でプロジェクト参画企業と名刺交換、自己紹介を行います。その後、プロジェクトの商品名(※)をグループ討論したり、生徒達の考えたレクリエーションなどで親睦を深め、1 年間の活動をスタートします。

※毎年生徒達に、プロジェクトやお酒を呑んでくださる方への想いを漢字一文字で表わしてもらい、そこから商品名を決定しています。



キックオフミーティング

### 4月 酒米 播種作業 (種まき)

品種は作りやすさと寒さに強い酒米である北海道産酒米「きたしずく」を選定。用意した床土・酒米の種子・覆土を播種機のホッパーにセットし、育苗箱に種をまいていきます。



播種作業

### 5月 田植え作業

同校内の田んぼで手植え班・田植機班に分かれ、それぞれ作業を行います。酒米は 50 俵の生産を目標に、四合瓶で約 6,000 本の日本酒醸造を行います。



田植え作業

### 7月 水稲栽培講習会

良質な酒米の生産・収穫をする為の栽培管理方法を学びます。また、稲の生育に悪影響を及ぼす病害虫や生育調査に必要な草丈・茎数の測り方のコツを学び、実際に虫の採取や生育調査を行います。



水稲栽培講習会

### 8月 20歳未満の飲酒防止 講話 プロジェクト参画企業 講話

「アルコール飲料と酔いのメカニズムや飲酒による病気の危険性」を学ぶと共に、「地域産業の仕事」「パッケージデザインやブランディング」「酒米が日本酒になるまで」など、毎年様々な講話を行います。



講話



稲刈り作業

## 9月 稲刈り作業

手刈り班とコンバイン班（機械刈り）に分かれ、それぞれ作業を行います。収穫した酒米は同校で袋詰めを行い、ホクレンでの精米作業を経て、高砂酒造へ納入されます。



ラベルデザイン検討

## 8～10月 ラベルデザイン検討

このプロジェクト酒は、毎年ラベルデザインと商品名が変わります。デザイナーによるデザイン授業を行った後、生徒達からデザイン案を集め、毎年新しいデザインを作っています。



酒造り実習

## 12月 酒造り実習

毎日一生懸命育てた酒米が、どのような形で日本酒となっていくのかを実際に見て今後に活かして頂きたい、生徒達を高砂酒造の製造工場に招き、蔵人達の作業見学と一部工程を体験します。



ラベル貼り

## 翌年2月 商品ラベル貼り ・梱包作業

製造担当者よりラベルの貼り方を教わり、生徒達が1本1本に想いを込めながら、手貼り班と半自動の機械貼り班に分かれてラベル貼りと梱包作業を行います。



発売発表会

## 翌年2月 プロジェクトの集大成！ 発売発表会

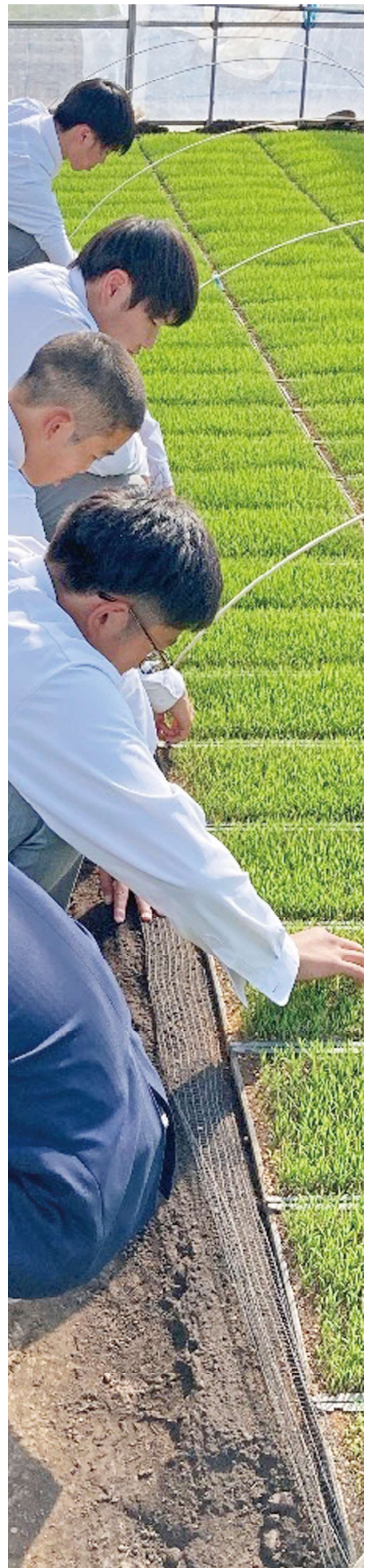
プロジェクトに携わって頂いた皆様や報道関係者の皆様に向けた発売発表会を実施。生徒達の進行で、1年間の活動報告を行います。



## 卒業から2年後…

## 完成したお酒は20歳の御祝いに

完成したお酒を蔵内で低温貯蔵し、20歳のタイミングで贈呈します。生徒達がこのプロジェクトでの出来事を思い出しながら、乾杯してくれる姿を今からとても楽しみにしています。



# 歴代商品



## 兆 2022

1年目

### 「兆2022」

プロジェクトの初年度（はじまりの年）、そして、ここから小さな息吹が芽吹き未来に繋ぐ旭川の特産品に育てていきたいという想いを込めて。



稲が風にそよぐ田んぼをイメージした  
緑ベースのデザイン

## 歩 2023

2年目

### 「歩2023」

これからもこのプロジェクトが将棋の駒の『歩』のように、1歩ずつ止まることなく、真っ直ぐに進んでいけるよう想いを込めて。



大雪山に雪が舞い  
プロジェクトの結晶が積もっていく  
様子を表現した白ベースのデザイン

## 憩ふ雫

2024

3年目

### 「憩ふ雫2024」

このお酒を特別な日や晩酌で飲んで、みんなが「憩」の時間を過ごせますように…との想いを込めて。



ブランドイ  
メージを付けたいと  
例年のデザインを  
引き継いだ爽やかな  
青ベースのデザイン



## ほほ咲

2025

4年目

### 「ほほ咲2025」

「プロジェクトに大きな花が“咲く”ように」と「このお酒を飲んで“ほほえみ”が広がりますように」という想いを込めて。



桜が舞い散る春を  
イメージした  
ピンクベースのデザイン



## 酒粕甘酒

プロジェクト酒から精製された酒粕に、同校生産のゆめぴりかをブレンドしています。